

TOPPAN エッジ、封入物デジタル化プラットフォーム「デジフラ[®]」が
オリコの顧客接点における DX 推進の取り組みで採用
カード入会時の封入物を電子化し、
デジタルチャネル活用による CX 向上と環境負荷低減を実現

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN エッジ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:添田 秀樹、以下 TOPPAN エッジ)は、株式会社オリエントコーポレーション(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:飯盛 徹夫、以下 オリコ)と連携し、TOPPAN エッジが提供する封入物デジタル化プラットフォーム「デジフラ[®]」を活用した封入物のデジタル化を11月27日(月)から開始しました。

「デジフラ[®]」を活用することで、オリコのクレジットカード会員は、カード台紙に印刷された二次元コードをスマートフォンで読み取るだけで、会員規約やご利用ガイドなどの内容を Web 上で閲覧することができます。

ペーパーレス化による環境負荷低減に寄与するだけでなく、電子化された封入物では、会員毎にパーソナライズされた情報が閲覧できる他、My ページ/アプリ登録ページ/動画コンテンツなど、他のデジタルチャネルへと遷移可能となるため、会員の利便性と CX(顧客体験)向上を実現します。

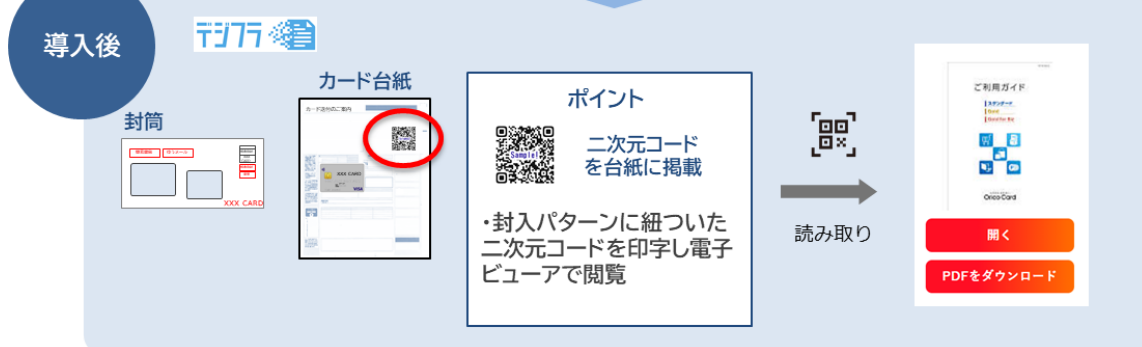
現状

■従来のカード送付(イメージ)



発券時封入物のデジタル化

導入後

「デジフラ[®]」により電子化された DM のイメージ■「デジフラ[®]」採用の背景

これまで、オリコのクレジットカードの発行に際しては、会員規約、ご利用ガイド、キャンペーンチラシなど、数々の案内を書類にて封入していましたが、封入物の増加や封入パターンが多岐にわたるため、管理業務の負荷が課題の一つでした。

このような中で、TOPPAN エッジが提供する、パーソナライズされた封入物をデジタル化するサービス「デジフラ[®]」を活用することで、オリコの事務効率化や会員の利便性向上、紙印刷物の削減による環境負荷の低減が可能になります。

■ 「デジフラ®」の特長

・紙封入物から電子版に簡単に置き換えが可能、ユーザビリティの向上実現

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN 株式会社が提供するデジタルブック配信サービス「iCata® (アイカタ)」を活用し、パーソナライズされた封入物を一元管理できると同時に、封入パターンのデータから URL や二次元コードを生成し、DM の宛名台紙へ印字します。

ユーザーは二次元コードをスマホ等で読み取り後、告知情報にアクセスでき、DM 内の封入物が減ることと、重要度の高い書類のみを確認することができます。

また、従来は封筒の形状や封入機の制約で同封出来なかった書類も、デジタル化によって配信可能なため、ユーザーに提供できる情報を増やすことができます。

・デジタルチャネルへの誘因や、ユーザー属性に応じた封入パターンの細分化にも対応

My ページ/アプリ登録ページ/動画コンテンツを始めとする、デジタルチャネルへの誘因により、他の電子化サービスと合わせた包括的な Web サービスの構築が可能です。例えば Web サイト上の電子化された印刷物を閲覧する際、Web 明細登録などの追加機能への申し込みを誘引できるなど、ユーザー接点の拡大にも対応します。

また、カードの券種ごとに封入パターンの振り分けができ、ユーザー属性に応じた情報発信が可能になります。

・印刷物製造コストと郵送コストの同時削減が可能

紙印刷物からデジタルブックへ置き換えることで、郵送物の軽量化を実現。印刷物製造コストと郵送コストを同時に削減することが可能です。デジタル化を推進するとともに、紙印刷物の削減により、環境への配慮を実現します。

■ 今後の目標

今後 TOPPAN エッジは「デジフラ®」の提供を通じて、オロコにおける電子化の対象とする封入物の拡大を支援することで、ペーパーレス化・環境配慮を図るとともに、DM の管理コストの削減やオロコの会員への新たな CX (顧客体験) を創造していきます。

また、TOPPAN エッジは、「デジフラ®」のさらなる機能開発、実装を進め、業務効率化と生活者の利便性向上を実現するソリューションを展開していきます。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上